

1 主題構成表

主題名「自然への畏敬の念」(中学校・第2学年) 資料名「槍ヶ岳の開山」(播隆上人)

<p>■ 内容項目 D(21) 「感動、畏敬の念」 美しいものや気高いものに感動する心を持ち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めること。</p>	<p>■ 内容項目から見た生徒の実態(意識)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美しい自然を守ることは大切であることは分かっている。また、自然に関わる不思議なことや神秘的なことに興味がある。</li> <li>・身のまわりに豊かな自然があるが、その存在について、感謝や感動の気持ちを忘れがちである。</li> <li>(要因)</li> <li>・人知や想像の範囲を超えた自然現象や事象、空間を目の当たりにする機会は少なく、そういった自然の不思議さ、恐ろしさ、美しさについて考える経験が少ない。</li> <li>・自分たちの住む町には美しい自然が多いと感じても、自然が生活の中に溶け込み、自然から生命を感じ取ったり、心のつながりを見いだしたりする機会が少ない。</li> </ul>	<p>■ 資料の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本資料は、偉大な大自然に感動し、「人間は様々な意味で有限であり、自然を通して人間の在り方や人生を見つめてきた」播隆上人の生き様を記したものである。</li> <li>・笠ヶ岳から荒々しい岩ばかりの峰が峰々を抜いてそそり立っている槍ヶ岳の雄姿を見た時の感動を、写真や映像を用いて資料提示をしながら伝えることで、言葉では表せない胸の震えを想像することができる。</li> <li>・生涯をかけて開山のために努力できたのは、槍ヶ岳の雄姿を見た時の感動が心の支えになっていたことや、努力の末、槍ヶ岳の頂上に立つ播隆上人の心の中に、人間の力をはるかに超えた大自然の美しさや神秘さ、荘厳さに触れ、独善的になりやすい人間の心を振り返ることができたという喜びがあったことに気付くことができる。</li> </ul>
--	---	--

■ ねらい  
限りない自然の美しさや神秘さ、荘厳さに触れることが、人の心を動かし、生き方を見つめ直すことにつながることに気づき、自然を敬おうとする心情を育てる。

<p>■ 展開の構想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・播隆上人の槍ヶ岳の雄姿を見た時の感動を理解する。</li> <li>・独善的になりやすい人間の心を振り返ることができた喜びとともに、自然に対する尊敬の気持ちを感じていることに気付くことができるようにする。</li> <li>・自然に対する「畏敬の念」について、自分との関わりで捉え、自然から感じる仲間の様々な感じ方に触れることができるようにする。</li> <li>・「畏敬の念」について、自分なりに多面的に捉えられるようになったことを価値付ける。</li> </ul>	<p>■ 基本発問(◎中心発問)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○播隆上人は、なぜ、槍ヶ岳に登りたいと思ったのでしょうか。</li> <li>◎槍ヶ岳の頂上に立ってまわりの世界を見た時、播隆上人は、どんなことを感じたのでしょうか。</li> <li>○「播隆上人が感じたこと」と「これまでの自分自身の自然に対する思い」とを比べた時、共通する感じ方と異なる感じ方はどんなことですか。</li> <li>○自分と自然とのつながりを振り返った時、これから、どんな時に、播隆上人が感じたような自然への思いをもつことができるのでしょうか。</li> </ul>
--	---

■ 「私たちの道徳」の活用(授業前・授業中・授業後・活用しない)  
(活用の仕方) P114~116を読み、自然の美しさ(P115)や自然の不思議さ(P116)について考えを書く。